

## 平成 26 年度第 2 回兵庫県スポーツ推進審議会 議事録

- 1 期日・場所 平成 27 年 3 月 18 日（水） 13:30～15:00  
兵庫県民会館 7 階「亀」  
〒650-0011 神戸市中央区下山手通 4 丁目 16-3
- 2 出席者 (委員 8 名) 平川委員 田中委員 松本委員 小山委員 平松委員  
濱田委員 福井委員 入江委員  
(欠席：山口委員 寺見委員 尾山委員 田名網委員  
増田委員 東野委員 三木委員)
- (幹事 14 名) ○竹村幹事 小川幹事 関幹事 ○西口幹事  
○小南幹事 今後幹事 ○横山幹事 石橋幹事  
中野幹事 ○仲井幹事 廣瀬幹事 船田幹事  
山内幹事 升川幹事  
(○印は代理出席)
- (教育委員会) 高井教育長
- (事務局) 山根副課長 大淵副課長 北中主幹 小和主任指導主事
- 3 開会あいさつ 高井教育長
- 4 委員・幹事紹介 司会者（北中主幹）から紙面による委員及び幹事の紹介
- 5 署名委員の指名 署名委員は、平松会長の指名により、次のとおり決定された。  
福井委員 入江委員
- 6 前回議事録の報告  
平成 26 年度第 1 回スポーツ推進審議会における報告事項（平成 26 年度事業概要、「兵庫県スポーツ推進計画」の状況及び平成 26 年度の取組みについて）及び審議事項（兵庫県スポーツ推進計画の取組を進めるための方策について）について大淵副課長が説明し、承認された。
- 7 報告事項  
(1) 第 1 回審議会後の対応について、大淵副課長が報告した。  
(2) 平成 27 年度の事業概要について  
① スポーツ振興課に関する事業概要について、船田スポーツ振興課長が報告した。  
② 体育保健課に関する事業概要について、廣瀬体育保健課長が報告した。  
③ 障害者支援課に関する事業概要について、関障害者支援課長が報告した。  
④ 健康増進課に関する事業概要について、小野健康政策班長が報告した。

## 8 審議事項

### (1) 平成27年度スポーツ振興団体に交付する補助金について

大淵副課長が説明し、案のとおり、関係団体に対して補助事業を実施することが承認された。

### (2) 兵庫県スポーツ推進計画の取組を進めるための方策について

大淵副課長より、「スポーツ推進計画」の目標達成に取り組む中、特に、「成人のスポーツ実施者の増加」について、運動・スポーツを実施していない人いかに始めさせるかについては、スポーツ環境の整備、機会の提供の増加をすすめる一方で、本人の意識の変容に結びつけるような啓発をどうすすめていくのかが大きな問題であることや、スポーツ実施者を増加させる取組としては、高齢者や障害者などに焦点化した取組も必要であるとの説明があった。

これらの説明をふまえ、今年度の取組を改めて報告した後、各委員より、連携・協働推進の課題やそれを克服するための、具体的な意見をいただいた。

### (3) その他

意見なし

## 9 その他の事項

### ■ 委員の主な意見及び事務局の説明

#### (1) 「報告事項(1) 第1回審議会後の対応について」

○特になし

#### (2) 「報告事項(2) 平成27年度の事業概要について」

##### 【委員】

○スポーツ振興課から「オリンピック・パラリンピックの招致」について説明がありましたが、各市町に対して招致意向等の調査はしましたか。

○学校教育の中でも並行して「オリンピック・パラリンピック」の内容について、取り組まれていますか。「見る」「支える」という観点においても重要であると考えていますが、これからの計画について、現段階の状況を教えて下さい。

##### 【事務局説明】

○まずは競技団体に対して合宿招致の意向の有無について確認するとともに、招致するとすれば、どのような場所・施設で行うのが適切かを調査しました。その上で、後日改めて市町に対して説明会を行い、競技団体からの希望施設の詳細等を報告するとともに、意向を確認しました。両者の意向が合致したところについては、ホームページで掲載することにしていきます。今後更に調整を進め、来年度はパンフレット等も作成し、招致の成功に結びつけていこうと考えています。

○学校教育の関係については、体育保健課から説明をさせていただきます。

##### 【事務局説明】

○教科で行うことについては、なかなか難しいところがあります。中学校、高等学校では、全国大会に出場する選手の中からも、既にオリンピックを意識した生徒も多く育ってきていますし、体育主任会や教員研修会等、駅伝等の大会挨拶の中でも、そのような話題に触れながら話をさせてもらっています。今後も機運醸成という点では、いろいろと取り組んでまいりたいと考えています。

**【委員】**

○JOCと兵庫県・神戸市は、パートナー都市協定を結んでいますので、積極的な関わり方をしていただけただら大変ありがたいです。オリンピックズ協会も、オリンピック教育の全国展開を考えています。今後、オリンピックに向けての取組について、何か考えていただくのもいいかなと思います。

**【委員】**

○障害者支援課から、障害のある方のスポーツ参加率のお話がありましたが、障害者の方は、自身のスポーツの「向き」「不向き」について、少し見方を変えてアドバイスをさせていただきだけで、スポーツに対する苦手意識が解消され、実施率が上がることが期待できます。障害者の方は、始めから「自分はできない」と思われて、そもそも活動の場に行かれない方がずいぶんおられます。そのような方々をサポートしていくことこそが大事ではないでしょうか。

**【委員】**

○健康増進課の専門人材の派遣について、費用や具体的にどのぐらいのニーズがあるのかを教えてくださいたいと思います。

**【事務局説明】**

- 費用については、職能団体から派遣されたり、いろいろなパターンがありますが、健康財団の専門スタッフの派遣では、健康運動指導士さんで1日1人28,000円～30,000円程度です。
- ニーズについては、医師会の健康スポーツ医の派遣が、年間20回ぐらいで、財団のスタッフ派遣は、20回以上来ていただいております。歯科の場合は分野が限られてくるので、回数的には多くはありません。
- 事業そのものは有料となっていますが、10万円の研修会補助が使えますので、無料で来ていただける仕組みになっています。

**(3) 「審議事項(1) 平成27年度スポーツ振興団体に交付する補助金について」**

○特になし（全員「異議なし」により承認）

**(4) 「審議事項(2) 兵庫県スポーツ推進計画の取組を進めるための方策について」**

**【委員】**

○アンケートを行う際の「スポーツの定義」はどのようになっていますか。スポーツ実施率の中に、毎朝5分程度歩かれる方や、家の中でラジオ体操をしておられる方は含まれますか。  
私の患者で、スポーツは全くしていないと話されるが、1日に3回はラジオ体操をされています。「スポーツの定義」がきちんと伝わっているのかどうかで、アンケート内容が、全然違ったものになってくると思います。

**【事務局説明】**

○スポーツというと、どうしてもサッカーやテニスとかをイメージしますが、この調査では、毎朝5分程度のウォーキングや室内でのラジオ体操等もスポーツに含みます。また、補足ですが、スポーツ実施率が平成25年度に大きく下がっています。これは、調査項目の記載場所が、本調査からフェイスシートの中へ

の記載に変更となったことが原因の一つだと考えています。推進計画の中では、「健康の維持増進のために行う身体活動、生活活動、運動は、スポーツに含める」と定義はしていますが、どこまで県民の皆様に浸透しているのかという視点も大変重要で、今後、本県の「スポーツの定義」を広く啓発していく必要があると考えています。

**【委員】**

- 「スポーツの定義」は絶対にぶれてはいけないものですし、きちんとおさえる必要があります。調査項目がころころと変わるようでは、運動・スポーツ実施状況の評価は難しいと思います。
- 12頁「第1回審議会後の対応について」の③「成人のスポーツ実施者の増加に関する市町のスポーツ行政との連携の推進」で、「成人の運動実施者の増加に向けた働きかけについて協議する」とありますが、各市町の取組や結果内容について調査はしていますか。

**【事務局説明】**

- まずは、県の推進計画に沿ったかたちで、市町ごとの推進計画を策定していただくことが一番であると考えています。推進計画の策定状況に関しては、機会を捉えて調査し、未策定の市町に対しては、策定を依頼しているところです。また、推進計画の基になるのが「県民意識調査」で、県のスポーツ実施率については、ブロック別で把握しておりますが、市町ごとのスポーツ実施率を把握しておらず、推進計画の策定状況等との相関関係については検証できておりません。今後、ご助言いただいた内容と合わせて、データ収集と分析に取り組んでいきます。

**【委員】**

- 推進計画を策定している市町と、まだの市町とでは、どちらが多いですか。

**【事務局説明】**

- 策定しているところの方が多いです。まだの市町については、今後も継続して、働きかけを行っていきたいと思っています。

**【委員】**

- 成人のスポーツの実施率を増加させるためのプログラム等について、各市町の状況（内容や成果等）を把握していますか。

**【事務局説明】**

- まだ十分に把握できていません。今後更に、調査内容を深めていきたいと思っています。

**【委員】**

- 県として、ぜひとも把握していただきたいと思っています。
- 「成人のスポーツ実施率の向上」と「健康増進」の内容は、かなりオーバーラップしているように思います。健康増進課とスポーツ振興課との連携について、具体的に教えてください。

### 【事務局説明】

○「ふれあいの祭典」等で、両課一緒になってブースを展開したり、スタンプラリーを行う等の連携事業を行いました。ただ、成人のスポーツ未実施者を0にするという観点で考えますと、スポーツ振興課だけでは到底カバーしきれないという認識もしていますし、健康増進課とも連携を図りながら、来年度も取り組んでいきたいと考えています。

### 【委員】

○アンケートの件ですが、兵庫県といえども都会と田舎があり、高齢者で考えると、都会は人数は多いですが運動実施率は低く、田舎は人数は少ないけれど運動実施率は高いと思います。「スポーツの定義」の捉え方がまちまちな中で、単に人数だけで判断したり、アンケート内容が変わったから内容も変わりましたでは、あまり意味がないのではないのでしょうか。

※各委員、順番にご発言

### 【委員】

○65歳以上の高齢者は、今や総人口の25%を占め、4人に1人が高齢者であるという現状をふまえての提言です。

現在、厚生労働省では、高齢者の介護予防として、運動と栄養、口腔機能の向上をテーマに取り組んでいます。身体機能が高い人は、口腔機能も高いと考えていましたが、決してそうではなく、運動機能と口腔機能は別で、運動機能を高めながら口腔機能も高めると、相互に効率良い結果が得られます。口唇を閉じたり、舌の運動を強化するといった、5分程度の簡単な運動で、運動と口腔体操をタイアップしていただくことで健康の増進にもつながると思います。

### 【委員】

- 「スポーツの定義」については再度きちんと整理していただく必要があります。また、調査については、性別、年齢、地域等、幅広く平均的に集約できるように工夫をしていただきたいと思います。
- 各市町の推進計画を市民に周知していくことも大事ですが、市町が策定したものを必ず県に報告する義務がないと、なかなか前に進まないと思います。
- 生涯スポーツ団体の育成強化を図ることで、いろいろな種目団体を通してスポーツに参加する人が増えてくるのではないかと思います。その方面への働きかけもぜひともお願いしたいと思います。

### 【委員】

- 各市町の推進計画の分析と、「スポーツの定義」等を、きちんと整理することが必要です。未実施者を無くすことについては、散歩やウォーキング等も運動であるという認識を広く周知できれば、必ず数値はあがると思います。
- 女子中学生のスポーツ実施率が下がっているということですが、その子どもたちが大人になって母親になれば、その子どもたちもスポーツをしなくなるという「負の連鎖」が生まれます。
- 最近では働き盛りの人がスポーツをしていないし、したいけれどできないという人が多く、その人たち向けのキャンペーン活動等も必要だと思います。

○ラグビーワールドカップの開催地の一つが神戸になりましたが、かつて、サッカーのワールドカップで淡路島がイングランドを誘致したことで、サッカーに対しての興味が非常に高まったと聞いていますが、神戸に決まったということで、何かお考えになっておられることとかはありますか。

#### 【事務局説明】

○東京オリンピック・パラリンピックの招致を成功させるために、事前の国際大会等でたくさんのチームを招致できれば、それが一つの実績にもなりますし、そこで充実した対応ができれば、本番の時には再び本県で事前合宿を実施していただけるものと思っております。世界陸上が今年、北京であります。その事前招致についても積極的に日本陸連に働きかけをしています。また、ラグビーワールドカップに引き続き、2019年には韓国で世界水泳があると聞いていますが、オリンピックまでの過程として取り組んでいきたいと考えています。

#### 【委員】

○ラグビーは、サッカーやオリンピックよりも開催期間が1ヶ月と長いので、しっかりとつかまえることができれば、なかなか良い話ではあると思います。

#### 【委員】

○スポーツの実施率向上について、成人向けのPRだけではなくて、学校の子どもたちに意識付けをすることが大事だと思います。学習指導要領の中学校「体育理論」の内容の充実が必要ではないでしょうか。実技だけではなくて、「体育理論」の分野でも研修を広めていただければありがたいです。

#### 【委員】

- 県民意識調査の質問項目はどのような表現であったのか教えていただきたい。
- 週に1回という目標値からすると、中高年の方は健康志向が高く、高い数値が出ています。ただ、働き盛りの30代、40代の実施率が少ないので、数値が一気に伸びないのではないのでしょうか。そのような中で、健康増進課の「県民運動ポータルサイト」等の取組は、まさに、その30代、40代に対して非常に効果的な提案ではないかと思えます。そして、できれば、30代、40代の働き盛りのプログラムや、高齢者のプログラム等、年代別プログラムの作成を工夫していただければ、更に効果的ではないかと思えます。
- 大きな企業であれば体育館があるので、サークル活動等、週に1日は体を動かせるような環境作りをお願いできれば、30代、40代のスポーツ実施率の向上にもつながるのではないのでしょうか。
- 中学校、高等学校の運動部活動の入部者数ですが、中学校では70%~80%、高校生では50%、ただし、公立高校では80%近くになっています。これは、私立の強豪校では、一般生徒がなかなか入部しにくい環境であるため、20%程度になっていることも一要因になっています。このことから、実は、子どもたちが興味関心を持って楽しめるというような部活動も大切ではないかと思えます。
- ママさんバレーや運動部のOB大会等の実施も、中年層のスポーツ実施率を上げるための一つではないのでしょうか。

### 【事務局説明】

○約5年に1度、「県民スポーツ意識調査」を行っています。質問項目は、「あなたは過去1年間で、運動・スポーツをどの程度実施しましたか、あてはまるもの1つに○をつけてください」ということで、選択肢は、「週に4日以上」「週に3日程度」「週に2日程度」「週に1日程度」「月に1～3日程度」「3ヶ月に1～2日程度」「1年に1～3日程度」「全くしない」の8項目です。そして、これとは別に、「兵庫の豊かさ指標県民意識調査」を行っています。スポーツの内容を「通勤等で駅まで歩くウォーキングも含む」と解説した上で、「この1年間の中に、スポーツをどれぐらいしますか」という項目を設定し、選択肢は、「週に3日以上」「週に1～2日程度」「月に1～3日程度」「年に1～3日程度」「全くしていない」という5項目を設けています。

先ほどご意見がありました、調査の妥当性、或いは、市町の推進計画と県の推進計画の整合性についてですが、調査における人口比については、当然都会と田舎では違いますので、人口比の補正はきちんと行っています。したがって、人口のばらつきについては問題ないと考えています。また、市町の推進計画については、基本的には、国や県の計画に準じて策定していますので、地域の特性はあるものの、県も市町も概ね同じ方向性をもったものであると認識しています。

### 【委員】

○兵庫県をひとくくりにしての評価だけではなく、各市町単位での分析が必要だと思います。地域の特性をふまえ、通勤やウォーキング等の生活における活動と、意識的な運動とがわかるような工夫が必要です。また、全体として、年齢に応じて、いつでもどこでも楽しめる生涯スポーツを推進するのであれば、個人でもできる歩行、急歩、体操等が、どれぐらい各市町で定着しているかの分析も必要だと思います。そして、それらの実施率を高める施策の実施が必要です。高齢者、成人の運動不足については、子どもの時期に、いかに運動生活習慣を身につけさせるかが、中・長期展望として大事になってくると思います。

### 【委員】

○両親がスポーツ好きなら、子どももスポーツをする機会が多くなります。学校教育の中でも、子どもたちに時間をかけて、運動を行うことの大切さを教えていくこと大事だと思います。

10 閉会あいさつ 船田スポーツ振興課長

11 閉 会

### 【署名委員】

氏名 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_